

# たんぽぽ



身近なまちの話題や出来事をご紹介します



◀会場ではお茶席や散策ツアー、コンサートなど、様々な催しが用意されています。

## 灯りに包まれる清水寺

清水寺の境内を灯りやライトで演出する「清水寺灯参道」イベントが10月22日から2日間、開催されました。日が沈む時間になると、徐々に行灯あんどんなどに灯がともされ、昼間とは違った雰囲気の様変わり。来場者は秋の夜と、神秘的なお寺の雰囲気を楽しんでいました。

第12回安来市総合文化祭の展示部門が10月7日～10日まで安来中央交流センターで開催されました。会場には感性に満ちあふれる秀作がずらり。華道、工芸立体、写真、書道、日本画、俳画、自由応募を合わせた総数364点が展示されました。

佐久保町の稲田幹雄さんは、広告紙を細く丸めたものを組み合わせ、背丈を超えるほどの城や塔、車などの紙工芸を製作。「見ている人が楽しんでくれれば」と話していました。

## 感性豊かな秀作並び 市民文化祭



▲作品を鑑賞する来場者  
◀紙で作った工芸品と製作者の稲田さん



▲市長から激励を受ける大森さん（左）。任期は11月～平成29年3月末まで。

## 4人目の隊員、農家をサポート

地域に住み、魅力発信やブランドの発掘などを行う安来市の地域おこし協力隊4人目に大森裕美さんが着任しました。昨年7月に都内で行われた新農業人フェアで安来市のブースを訪れたことがきっかけで、神奈川県横浜市から移住を決意。赴任地となる穂日島町の農業サポートセンターで、農業活性化に向け、農家を支える活動を行う予定です。

11月1日、辞令交付を受けた大森さんは「農業サポーターを増やし、農家の要請に常に応えられる体制を整え、農家を支援したい」と抱負を語りました。



# 写真で振り返る なかみマラソン 全国大会 2016



11月6日に開催した大会には4907人が参加。3世代、夫婦、仲間、そして家族の声援を受けながらの独走と、それぞれの思いを背に中海沿岸のコースを疾走したりウォーキングしたりしました。

肌寒い日となった大会当日。ゴール後に参加者は、会場で振る舞われたしじみ汁で暖をとったり、特産品が販売されたグルメ村で食事をとったりと大会を満喫していました。

大会の様子をカメラで追いました。

